



令和6年度 12月号 No. 9

「絵本から飛び出したおやつ」



～あらすじ～

地球をまるごと「いただきます」というテーマで書かれている絵本で、子どもたちにもりんごが育っていく様子が分かりやすいように表現されています。



この絵本は、りんごがおひさまの光を浴びたり、雨に打たれたりの内容となっており年長児の中には、「太陽の味ってどんな味だろう？」と凄く気になる子がいたり、冬野菜を育てたことで、食への興味が深まり、「りんごは、どうやって水を飲むの？」など食物に関する意識も変わってきたように感じます。

おやつになると0歳児のクラスでは、絵本のアップパイとおやつのアップパイを指差しながら、「一緒だよ！」と言うことを伝えている姿もありました。アップパイは、どこのクラスでも大人気のおやつで、りんごの時期になると毎月アップパイを取り入れています。実際に食べてみると、「りんごが、たくさん入っている！」や「甘くて美味しいね！」など友達との会話を楽しみながら、落とさないように両手でしっかり持ち、美味しそうに頬張って食べていました。



～冬野菜の収穫ができました！～

11月末に大根の収穫をしました。大根の種類が“ミニ大根”ということで、子どもたちには、ほど良いサイズで収穫しやすそうでした。収穫した大根は、次の日のおでんと一緒に煮込んで年長児で頂きました。



そして、別の日にはキャベツとブロッコリーの収穫を行いました。キャベツは、虫たちに食べられながらも、途中駆除をするときっぱりと葉を巻き成長してくれ、次の日の焼肉風野菜炒めに使用し園全員で頂きました。

また、ブロッコリーは、苗からブロッコリーになるまで毎日成長を見る事が出来、子どもたちは、「まだ、採らんと？」や「いつ食べられると？」と収穫期が待ち遠しそうでしたが、立派に成長し大きなブロッコリーが収穫出来ました。収穫したブロッコリーは、すぐに子どもたちの前で調理を行い塩茹でしたブロッコリーを食べてもらいました。ブロッコリーが苦手な子もいましたが、自分たちで育てた野菜は美味しかったようで、保護者の方から「家でもブロッコリーを食べられるようになりました。」と嬉しい感想も聞く事が出来ました。そして、この日は、キャベツとブロッコリーを同時に収穫出来たため、“どっちの野菜が重たいかな？”と重さ比べをしたり、野菜観察の時間にもなりました。

